大府かわら版

6月議会 続報

みんなの健康づくり支える施設に

健康づくり総合支援施設 めぐり質疑

厚生文教委で　日本共産党・久永かずえ市議

2日に開会した大府市議会6月定例議会は、条例の制定・一部改定7件、一般会計補正予算1件、その他人事案件等4件、などの議案を採択し24日に閉会しました。このうち、大府北中学校に隣接して「健康づくり総合支援施設」を新たに開設するための条例制定について、日本共産党の久永かずえ議員は所属の厚生文教委員会で質疑に立ちました。その概要を報告します。

健康づくり身体活動支援センターについて

◉久永市議の質問…調理ができる部屋は一般開放されないが、学校の調理実習など社会体験学習の場としてレインボーハウスの子どもたちが調理するなどの利用は可能か?

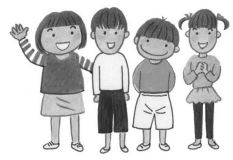
▼市の答弁…健康づくり身体活動支援センターでは栄養講座等で食生活の改善を目的に受講者に食事の提供を予定している。食品営業許可を取得するため許可の範囲内でできる事業を進めていく。

◉久永市議…市民が健康で活躍できる地域づくりの推進と、長期欠席の児童生徒の社会的自立を図るのが今回の新施設。その在り方に照らしても、柔軟な施設利用が求められるのではないか?

▼市…調理室は、管理上使用したい日にいつでも使用できる運用ではないため、必要な準備をする中での活用を考えている。

◉久永市議…働く世代の利用も含め土曜日や水曜日の時間延長（日・月は閉館）で対応するとのことだが、保健センター（土・日閉館）と連携するため土曜日と月曜日に連絡を取り合う場合、どう調整するのか?

▼市…色々なプログラム等を予定しているが平日の時間帯でも調整はできると考えている。



第2レインボーハウスについて

◉久永市議…定員は?

▼市…具体的な人数の定員は設けていない。希望する児童生徒を受け入れる体制運用を考えている。施設の大きさからして約60人程度の受け入れは可能と考えている。

◉久永市議…現在のレインボーハウスに通っている児童生徒が、新設の第2レインボーハウスを希望した場合、受け入れはどのようか?

▼市…住所要件はないため、希望するレインボーハウスに通えると想定している。現在のレインボーハウスに通う児童生徒が第2レインボーハウスを希望することがあれば受け入れる予定をしている。

長期欠席者にも学校給食の提供を

賛成の立場で意見表明　久永市議



普通教室に通えずレインボーハウスに通っている児童生徒には給食が提供されていません。

長期欠席で、心身ともに気持ちが落ち込んでいる子どもがいるのであれば、ぜひ大府市のおいしい給食を食べて欲しい。偏食や欠食になりがちな児童生徒への食育指導は教育の基本であり「健康づくり総合支援施設」として設置される施設には調理の可能な部屋もあるので、どうすれば学校給食を提供できるかという視点での前向きな検討が必要です。条例制定に賛成し、調理実習や食育のための豊かな活動の後押しとなることを期待します。

◆◆◆◆◆◆

他の委員からそれぞれの職員配置や体制について質問があり、市は「健康づくり身体活動支援センターには、館長、理学療法士、健康運動指導士、公認心理士などの専門職を配置予定」「第2レインボーハウスにはスクールソーシャルワーカー兼長期欠席教育支援推進員などを配置」と答えました。

「健康づくり総合支援施設」とは

「健康都市」をまちづくりの基本理念とする大府市として、開設を予定する新施設。青少年期に不足しがちな身体活動、働く世代や壮年期の子育て・介護などでとりくみが難しい健康づくり、高齢期の認知症予防、などすべての年代層にそれぞれ意識した健康づくりが期待される「健康づくり総合支援センター」と、小体活動支援センターを長期に欠席している中学校を長期に欠席している市内で2児童・生徒が通える市内で2か所目の「レインボーハウス」を一体的に推進するというものです。

相談はお気軽に声かけください

生活相談　日常生活の困りごとについてご相談ください。

法律相談　予約制で弁護士が対応

7月15日㈬午後6時～　無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ携帯電話 090-1758-3521